

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～21 年度年度

国際ロータリー会長 Holger Knaack



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第1回例会 2020.7.6 (#2275) 会場:舞の間

例会ホスト・紹介係 地引君 会費係 内田君

受付係 保科君 藤田君

司会者 濱田君 ソングリーダー 崎山君

卓話「三役就任ご挨拶」

須藤会長・荘村副会長・齊藤幹事

前回の報告

第33回例会 2020.6.22 (#2274) 会場:翠鳳の間

例会ホスト・紹介係 地引君

受付係 吉田君 鈴木君

司会者 浅野君

卓話 「新型コロナウイルスの世界経済への影響」

会長報告

- 1) 本日は、ブラジルとつないで、コロナ禍が及ぼす世界経済についてお話をさせて頂こうと思います
- 2) 新保会員に、ロータリー財団より、ポールはリスフェローのピン(\$4000に達しました)が届いております
- 3) 今期は予期せぬ、コロナウィルス感染拡大防止の為、休会が続きました。本日が、今期最期の例会となります。当初の計画は、中途半端になってしまいましたが、致し方ありません。来期に、引継ぎ、殊にコロナ関連の支援に協力して行きたいと考えております。

幹事報告

- 1) いろいろとお世話になりありがとうございます。
- 2) 次年度の納涼会のご案内と、例会場でのお手伝い依頼の、輪番表を配布致しました。
- 3) 会員名簿の訂正などは、今月中にお知らせ下さい

例会記録

会員総数	42名	出席会員数	30名
ゲスト	0名	その他	1名
ビジター	0名	事務局	2名
海外ビジター	0名	出席率	78.23%

ニコニコボックス

菌会員：これまでお世話になり、ありがとうございました。

佐藤会員：本日は最終例会。宜しく願いいたします。

荒川会員：1年間ありがとうございました。

飯嶋会員：誕生日(6/4)

次回予告

第2回例会 2020.7.13 (#2276)

会場：舞の間
例会ホスト・紹介係 飯嶋君
受付係 乳井君 木寅君
会費係 秋山君
司会者 濱田君
ソングリーダー 崎山君

【今週のMU状況】

中谷会員 (7/1 東京 RC)

「各奉仕委員長 抱負」

飯嶋職業奉仕委員長
荒川社会奉仕委員長
吉田国際奉仕委員長
藤田青少年委員長



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度「ロータリーは機会の扉を開く」

ホルガー・クナック会長エレクトの2020-21年度テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。このテーマは、ロータリアンがリーダーシップを強化する機会をつくり、奉仕の理念を行動へと移し支援を必要とする人びとの生活を向上する活動を行うようロータリアンを喚起しています。

就任ご挨拶



須藤 仁会長

「ロータリーライフをみんな
で楽しもう」

2020-21 年度国際ロータリー会
長ホルガー・クナーク氏は、
2020-21 年度テーマを

「ロータリーは機会の扉を開く」(Rotary Opens Opportunities)と発表されました。ロータリーとはクラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」である。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機械の扉を開いています。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機械を生み出すものである。奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーである。2021 年 6 月 12 日国際大会が台湾で開催されます。

2020-21 年度第 2580 地区ガバナー野生司義光氏は地区のテーマも同一での活動することを示されました。年次目標として 1 会員増強 2 公共イメージの向上 3 分区ごとロータリーデーの開催以上 3 点を達成することによって「ロータリーを楽しんで仲間を増やす」。これを踏まえて東京麹町ロータリークラブは前年度を踏襲し 2020-21 年度活動します。

RI 第 2580 地区に対する支援としてロータリー財団への寄付目標 \$230/1 人、青少年交換インバウンド受け入れ（予定していましたが延期）。米山記念奨学会への寄付目標 20,000 円/1 人、米山記念奨学生のお世話クラブとして中国からの留学生を受け入れ。RYLA への参加協力。地区 RLI への参加協力。地区委員会主催研修会への参加協力。10 月 5 日月曜日ガバナー公式訪問東京紀尾井町 RC と合同例会。10 月 12 日月曜日中央分区ゴルフ予選会我孫子ゴルフ倶楽部にて開催。11 月 9 日中央分区 IM（ハイアット東京）全員登録・ロータリーデーへの積極参加。2021 年 2 月 17 日地区大会（ホテルニューオータニ）全員登録。

東京麹町クラブ内ではポリオ撲滅チャリティー寄席の開催。バリ島「口唇口蓋裂治療」バリ・ヌサドア RC と GG を利用した支援。鍵盤ハーモニカの寄贈。福島県農業物産風評被害改善対策 JA 福島よりの購入推進。姉妹クラブ福島南ロータリークラブ 50 周年への参加。東京麹町ロータリークラブではロータリーにふさわしい奉仕活動を継続展開しています各事業にみんな楽しんでそしてひと手間かけ公共イメージの向上につなげます。

会員データの整備・My Rotary への全員登録。

会報・CICO・ホームページ・フェースブックの充実と異常時における WEB 会議等に全員参加できる環境の整備。

クラブ奉仕各委員会のもと魅力ある例会・親睦活動をそして職業・社会・国際・青少年・米山・姉妹クラブ委員会のもと奉仕活動を展開してロータリーライフをみんな楽しんで、そして一人でも多く品格ある東京麹町ロータリークラブに相応しい入会者を増やしましょう。

齊藤幹事・荘村副会長・福田副幹事はじめ各委員長・会員各位・今年度は若林ガバナーエレクト・新保・佐藤地区副幹事他 11 名が地区へ出向しよりご負担をお掛けしますが何卒ご協力を頂き「品格を重んじ、仲間を尊重する（あなたが一番・私が二番）クラブ」の名に恥じない様運営していく所存です。全くもって不束な会長でございます何卒ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

ロータリー戦略計画 ビジョン声明「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」(Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change - across the globe, in our communities, and in ourselves.)

優先事項として 1. ロータリーがより大きなインパクトをもたらす 2. 参加者の基盤を広げる 3. 参加者の積極的な関わりを促す 4. 適応力を高める



荘村 明彦副会長

この度副会長に就任いたしました荘村です。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、現在日本では新型コロナウイルスによる緊急事態宣言も解除され、何とか人々が顔を合わせることが

できるようになりました。しかし、地球規模で見ますと新型コロナによるパンデミックはまだまだ、収束の兆しが見えておりません。このような状況下においてロータリアンとして、何ができるのか、何をしなくてはならないのか。一ロータリアンとして考えさせられる状況であります。

このような大変な状況の中、須藤会長の方針「ロータリーライフをみんな楽しんで」を推進するべく、楽しみつつ新会長を補佐してまいります。

まずは会員の皆様が仲良く楽しくクラブライフを過ごすために、親睦を図ってまいります。

その昔お遍路会とうたって、会員同士がお酒、お食事を共にして親睦を深めていたと聞いております。そのような機会を設けられればと思っております。そのうえで、喫緊の課題であります会員の増強、新型コロナの状況次第では、どれだけ実施できるかわかりませんが、ポリオ撲滅事業、バリ・ヌサドア RC との「口唇口蓋裂治療」共同事業、フィジーへの鍵盤ハーモニカの寄贈事業そして、姉妹クラブであります福島南ロータリークラブとの新規共同事業等を実現できますよう努力いたします。会員の皆様におかれましては、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。また、今年度は若林会員が2021-2022年度ガバナーを務められる重要な準備期間でもあります。そういった意味でも出来る範囲で何が出来るのかを考え、品格のある東京麹町ロータリークラブであり続けますよう、あなたが一番・私が二番の精神で職責を全うする所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。



野生司 義光ガバナー

2020-21年度 国際ロータリー会長のホルガー・クナーク氏は、2020-21年度テーマを「ロータリーは機会の扉を開く」と発表しました。

“ロータリーとは、クラブに入会するとい

うだけでなく、「無限の機会への招待」である。

私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものである。奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーである。“と力説されました。

このマークは誇りのシンボル歯車のロータリーゴールド、ローターアクターを示すクランベリーレッド、ロータリアンのロイヤルブルーで構成されています。

私たちもこのテーマをもってこの1年活動していきましょう。例年、地区テーマを掲げますが、私は、「ロータリーは機会の扉を開く」をそのまま地区のテーマとし、活動していきたいと思えます。

■ビジョン声明「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というビジョン声明と・より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる

・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める という4つの行動計画を再認識し、ビジョン実現に取り組んでいきましょう。

■2020-21 年度地区活動方針

1. 会員増強

会員数の減少を止めることはわが地区の大きな課題ですが、実態はつかめているでしょうか？日本のなかで、わが地区は人口1万人当たりロータリアンの人数が最低、という事実をご存知でしょうか？なぜ、会員増強なのでしょう？会員が増えることで、達成できる目標があります。まずは、自分たちのクラブの実態を把握し、分析することが必要です。そして、そのためには、会員のデータを整備し、各人が My Rotary に登録することで、簡単にクラブの状況が見えるようになります。皆様にも、ぜひとも登録をおねがいしたい。まずは、ロータリーのページにアクセスするという行動をとっていただきたい、と考えています。

2. 公共イメージの向上

そのうえで、公共イメージ向上に取り組み、広く、会員でない方に「ロータリー」を認知してもらうことが仲間を増やすことにつながると考えています。公共イメージ向上は、地域とつながることであり、すでに各クラブでは社会奉仕活動として、地域のお祭りに参加したり、バザーを開催したり、青少年の活動を応援しているところも多いと思います。新聞やテレビ、自治体の広報に載せてもらう、露出し、認知してもらうようにしていきましょう。また、そのためにも、ロータリーのロゴやカラーなどブランドリソースを大いに活用しましょう。

3. ロータリーデーの開催

すでに、各クラブで祭りやバザーなどに参加していることでしょ。さらに、分区ごとでロータリーデーが開催できれば、より大きなインパクトにつながることでしょう。閉鎖的な「仲良しクラブ」ではなく、行動するクラブに変わっていきましょう。

■行動計画

1. 分區別クラブ活性化セミナーの開催

分區別クラブ活性化セミナーはガバナー補佐の方々を中心に分區別会長幹事会時に行ってください。公共イメージの向上、会員増強、ロータリーデーへとつなげるようにしていきたいと考えています。

2. 会員データの整備と My Rotary の登録推進

2020年5月末までに登録していきましょう。

3. 奉仕活動情報交換研究会の開催

また、今年度新たに奉仕プロジェクトグループを設けました。すでに RI では奉仕委員会を奉仕プロジェクトグループに統合させ、一体で運営するようになってきています。第2580地区でも今回、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の3委員会合同での奉仕活動情報交換研究会を発足させ、情報共有を図ることとしています。

日本のロータリーが100周年を迎える今年、一緒に機会の扉を開いていきましょう。